

## 【ご利用案内】

- ◇公開時間  
毎月最終の土曜日(除く12月)10時～15時  
※10人以上の団体様は、事前にお問合せください。
- ◇ガイド  
公開時は「高原水車友の会」会員がご説明いたします。
- ◇注意事項  
水車場は完全禁煙です。  
場内は、機械類が多数あります。又水路もありますので注意してご見学ください。
- ◇駐車場 5台駐車可能です。
- ◇問合せ先 0877-33-4601(堀家)

## 高原水車友の会活動

平成26年4月発足  
古川水路渡渉  
納屋の改造  
関連用具の整理  
製麵機の修理  
見学者を迎える  
実測調査手伝い  
周辺整備など



水車を  
見に来てね!



すいしゅん

## ●アクセス

高原水車 所在地 : 香川県高松市六条町672  
交通 JR高松駅からことでんバス サンメッセ・川島・西植田線「古川橋」徒歩3分  
コトデン電車太田駅からことでんバス 太田駅サンメッセ線「サンメッセ東」徒歩5分  
高松自動車道高松中央インターから車で5分  
コトデン電車元山駅から徒歩22分



編集・発行 高原水車友の会 2017年3月 協力助成: 福武財団



# 讃岐六条の水車

～高原水車(たかはらすいしゅん)～



MH

MY

▲雨の少ない讃岐平野には、昔からたくさんのため池が作られ、私たちはそこから流れる水の恩恵を受けてきました。その貴重な川の水を利用して水系ごとにたくさんの水車が回り、人々の生活を支えていた時代がありました。

▲日本の水車の歴史は、古く奈良時代にさかのぼると言われますが、田んぼに水を汲み上げる揚水水車と精米・製粉・砂糖搾りなどの仕事をする動力水車の2種類があります。

▲高原水車は江戸時代、旧古川の地形を利用して、高松藩士が始めた水車です。その後明治35年、当時25歳の高原太吉が譲り受け、製粉、精米、精麦、製麵などの事業を続けました。水車は水の管理と水輪、石臼、歯車、水路などのメンテナンスが絶えず必要です。

▲讃岐の水車には、平野において、効率よく水車を回すための水車大工の高度な技術と先人の知恵が詰まっています。かつて香川県には348基の水車があったという記録があります(『讃岐の水車』)。現在残っている最後の水車となった高原水車は、この数年間多くの人たちの協力を得て、調査がおこなわれ、その結果、2013年に産業考古学会の推薦産業遺産に認定され、2016年3月に国の登録有形民俗文化財となりました。現在伝統的な技術によって復元修復がおこなわれています。水車の機構が修復されて、ザーザーと力強い音を立てて水車が回る日も近いことでしょう。